

## 第4号事業

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-1
事業名	レガス子どもクラブ（総括）			担 当 課	子ども支援課
				変更内容	事業見直し
目 的	子どもたちが安心してスポーツ・レクリエーション活動及び学習活動に参加できる場と機会を提供する。また、各活動を通して参加者相互の交流を図る中で、子どもたちの自主性や創造力を育むとともに、次代を担う子どもたちの心身の健全な育成を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	4,899	5,584	△ 685	部	経常増減の部
自主財源	405	598	△ 193	大科目	事業費
区補助金	6,383	6,168	215	種別	自主・補助
経常収益計	11,687	12,350	△ 663	(単位:千円)	
事業費	5,757	6,472	△ 715		
人件費	5,930	5,878	52		
経常費用計	11,687	12,350	△ 663		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) レガス子どもクラブ／総合体験プログラム(自主)  
新宿区の資源(人・まち・学校・団体・施設・自然等)を活用し、子どもたちの相互の交流と活動を通じて、新宿力を身に付け、子どもたちが自身で考えて行動する力を養う。平成27年5月から平成28年3月までの11か月間、年間20回。
- (2) レガス子どもクラブ／スポーツプログラム・学習プログラム(自主)  
各事業のアンケート調査の結果をもとに、子どもたちが普段からやってみたいことをクラブ化し、子どもたちの相互の交流と活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図ることを目的に実施する。
  - ① フットサルクラブ(定員24人／コース×全30回／コース×3コース)
  - ② 水泳クラブ(定員30人×全25回)
  - ③ 料理クラブ(定員20人×全16回)
  - ④ 図工クラブ(定員30人×全25回)
  - ⑤ 英語クラブ(定員20人／コース×全25回／コース×2コース×3会場)
- (3) レガス子どもクラブ/小学生体操教室(補助)  
子どもたちの体力・運動能力の向上を図ることを目的に、小学生体操教室を実施する。また、子どもたちにとって身近な種目(マット運動・跳び箱、ボール、縄跳び、かけっこ等)を中心に体操教室を実施する。平成27年5月から平成28年3月まで(30人×25回)

### 2 成果指標

- (1) レガス子どもクラブ(自主):総合体験プログラム、スポーツ・学習プログラムの延べ参加者数/7,980人
- (2) レガス子どもクラブ:小学生体操教室(補助)の延べ参加者数/750人
- (3) 児童・保護者アンケート結果/評価3.5以上

### 3 実施上の課題

- (1) 大学や民間企業等と連携し、子どもたちの多様な学習機会を創出するための仕組みづくりを行う。
- (2) 子どもたちへの効果的な指導方法、プログラムの内容やレベル等を検討する。
- (3) 様々なレベルの参加者が混在するクラスへの対応と集団行動、活動における仕組みづくりを行う。
- (4) 子どもたちが身近な環境で事業参加できるよう、放課後子どもひろば実施校等へも会場を広げ、区内全域から多くの参加者を得るために会場および実施日時を検討する。

### 4 顧客満足度の向上方策

児童のニーズを把握し、各プログラムの活動内容や翌年度の種目設定に活かす。

### 5 実績

	事業名	定員	応募者数	延べ参加者数
24年度	総合体験	50人	117人	712人
	スポーツ・学習	325人	400人	5,448人
	健康・スポーツ	50人	44人	512人
25年度	総合体験	55人	111人	705人
	スポーツ・学習	197人	268人	3,677人
	健康・スポーツ	300人	255人	2,053人

### 6 対前年度予算増減説明

実施内容見直しによる減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、小学校学習指導要領、食育基本法	事業開始	平成22年度
------	-------------------------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-1
事業名	レガス子どもクラブ(自主)			担 当 課	子ども支援課
				変更内容	事業見直し
目 的	子どもたちが安心してスポーツ・レクリエーション活動及び学習活動に参加できる場と機会を提供する。また、各活動を通して参加者相互の交流を図る中で、子どもたちの自主性や創造力を育むとともに、次代を担う子どもたちの心身の健全な育成を図る。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	4,599	5,056	△ 457	部	経常増減の部
自主財源	405	598	△ 193	大	管理費
区補助金	5,534	5,485	49	種別	自主事業
経常収益計	10,538	11,139	△ 601	(単位:千円)	
事業費	5,004	5,654	△ 650		
人件費	5,534	5,485	49		
経常費用計	10,538	11,139	△ 601		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) レガス子どもクラブ／総合体験プログラム

- ① 実施内容 新宿区の資源(人・まち・学校・団体・施設・自然等)を活用し、子どもたちの相互の交流と活動を通じて、新宿力を身に付け、子どもたちが自身で考えて行動する力を養う。
- ② 実施期間 平成27年5月から平成28年3月までの11か月間、年間20回。
- ③ 対 象 小学校1年生から小学校6年生までの児童50人。
- ④ 連携協力 講師及びボランティアスタッフについて、区内の団体、大学等との連携、協力を得る。

#### (2) レガス子どもクラブ／スポーツプログラム・学習プログラム

- ① 実施内容 各事業のアンケート調査の結果をもとに、子どもたちが普段からやってみたいことをクラブ化し、子どもたちの相互の交流と活動を通じて、子どもたちの心身の健全な育成を図ることを目的に、フットサルクラブ(定員24人／コース×全30回／コース×3コース)、水泳クラブ(定員30人×全25回)、料理クラブ(定員20人×16回)、図工クラブ(定員30人×25回)、英語クラブ(定員20人／コース×全25回／コース×2コース×3会場)を実施する。
- ② 実施期間 平成27年5月から平成28年3月まで(各クラブ実施回数は上記のとおり。)
- ③ 対 象 小学校1年生から小学校6年生までの児童、各クラブ定員は上記のとおり。
- ④ 実施会場 新宿コズミックスポーツセンター(フットサルクラブ、水泳クラブ)、四谷地域センター(料理クラブ)、四谷ひろば(図工クラブ)、花園小学校ほか(英語クラブ)
- ⑤ 連携協力 一般社団法人新宿区体育協会加盟団体及び地域団体、新宿地域人材ネット登録者、ほか。(※なお、新宿スポーツセンターの協力を得て、フットサルクラブ対外試合を行う。)

### 2 成果指標

延べ参加者数／7,980人

### 3 実施上の課題

- (1) 大学や民間企業等と連携した、子どもたちに多様な学習機会の創出するための仕組みづくりを行う。
- (2) プログラムの内容やレベル等、子どもたちへの効果的な指導方法を研究する。
- (3) 様々なレベルの参加者が混在するクラスへの対応と集団行動、活動における仕組みづくりを行う。
- (4) 子どもたちが身近な環境で参加できるよう、学校施設等、会場、実施日の選定を行う。

### 4 顧客満足度の向上方策

放課後子どもひろば等の事業で児童のニーズを把握し、活動内容や翌年度の種目設定に活かす。

### 5 実績

平成24年度「事業定員325人／326人」、平成25年度「事業定員297人／346人」

### 6 対前年度予算増減説明

実施内容見直しによる減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、小学校学習指導要領	事業開始	平成22年度
------	-------------------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成		事業・枝事業番号	4-1	
事業名	レガス子どもクラブ(補助)			担 当 課	子ども支援課
				変更内容	事業見直し
目 的	子どもの体力、運動能力(走る・跳ぶ・投げる)の向上を図るため、学校体育・体育あそびの種目を通じて、小学生に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力を培うとともに、様々な活動への意欲や社会性、創造性を育む機会とする。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	300	528	△ 228	部	経常増減の部
区補助金	849	683	166	大	事業費
経常収益計	1,149	1,211	△ 62	種別	補助事業
事業費	753	818	△ 65	(単位:千円)	
人件費	396	393	3		
経常費用計	1,149	1,211	△ 62		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1) 実施内容 子どもたちの体力・運動能力の向上を図ることを目的に、子どもたちにとって身近な種目(マット運動・跳び箱、ボール、縄跳び、かけっこ等)を中心とした小学生体操教室を実施する。  
また、栄養指導を保護者、児童に対して実施し、栄養面でも、子どもたちの体力向上、健康増進をサポートする。
- (2) 実施期間 平成27年5月から平成28年3月までの11ヶ月間、年間25回。
- (3) 実施場所 新宿コズミックスポーツセンター
- (4) 実施時間 16時30分から18時(予定)
- (5) 対 象 小学校1年生から小学校6年生までの児童、30人。
- (6) 講 師 ① 体操を指導する講師については体操教室及び体操指導員派遣会社に依頼する。  
② 栄養指導の講師については、財団内の他事業でも実績のある栄養士に依頼する。

### 2 成果指標

延べ参加者数/600人(延べ参加者数750人×80%)

### 3 実施上の課題

- (1) 子どもたちの体力・運動能力の向上を目的として明確に打ち出す。  
(2) 小学校学習指導要領をもとに、各学年に応じた指導、プログラムを提供する。

### 4 顧客満足度の向上方策

- (1) 子どもたちの士気が下がらないようにプログラム等、指導内容に注意する。  
(2) 子どもたちの活動内容等を保護者に伝えるための工夫を行う。  
(3) 事業終了後、顧客満足度調査のためのアンケート調査を行う。

### 5 実績

	事業名	定員	応募者	延べ参加人数
平成22年度	土曜日/スキップコース	50人	27人	585人
平成23年度	土曜日/スキップコース	50人	49人	593人
平成24年度	土曜日/スキップコース	50人	44人	512人
平成25年度	土曜日/スキップコース	50人	50人	791人
	かけっこ・なわとび	60人	41人	294人
	ダンスダンスだんす	70人	62人	391人
	マラソン大会走ろう	60人	32人	216人
	器械体操	60人	70人	361人

### 6 対前年度予算増減説明

事業内容見直しによる減

根拠法令	社会教育法、スポーツ基本法、食育基本法、小学校学習指導要領	事業開始	平成22年度
------	-------------------------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-2
事業名	子ども未来講座			担 当 課	子ども支援課
				変 更 内 容	事業拡大
目 的	子どもたちに実験や工作等、様々な体験等を通じて、サイエンスの楽しさを知ってもらうとともに、科学や技術に対する興味・関心を育む。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,010	736	274	部	経常増減の部
自主財源	796	555	241	大科目	事業費
区補助金	2,773	2,748	25	種別	自主事業
経常収益計	4,579	4,039	540	(単位:千円)	
事業費	1,806	1,291	515		
人件費	2,773	2,748	25		
経常費用計	4,579	4,039	540		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) 夏休み科学教室

学校の夏季休業期間を利用し、大学等の専門機関を会場とした科学教室を実施する。

- ① 実施日 平成27年7月から平成27年8月、小学校の夏休みに合わせて実施する。全2日。
- ② 対象者 小学校1年生から6年生までの児童、定員は30人。
- ③ 協力/連携 都内の理工系の大学等を予定。

#### (2) 宇宙の学校(連続講座)

宇宙のしくみ・理科実験・工作等を学ぶ機会を提供する。

- ① 実施日 平成27年7月から平成27年12月(全4回×2コース)
- ② 対象者 小学校1年生から6年生までの児童、定員は各コース40人。
- ③ 協力/連携 子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)、シリウスの会等

#### (3) その他科学教室

理科の面白さを伝える教室を実施する。

- ① 実施日 平成27年6月から平成28年3月(全6回)
- ② 対象者 小学校1年生から6年生までの児童、定員は各回30人。
- ③ 協力/連携 都内の大学及び民間企業。

#### (4) サイエンスクラブ(新規)

科学の分野や物理・数学等、広分野(サイエンス)のプログラムを実施する。

- ① 実施日 平成27年5月から平成28年3月(全6回×2コース)
- ② 対象者 小学校1年生から6年生までの児童、定員は各コース30人。
- ③ 協力/連携 都内の大学及び民間企業。

### 2 成果指標

延べ参加者数980人

### 3 実施上の課題

- (1) 専門機関である大学内を会場とすること等により、普段体験できない科学教室を実施する。
- (2) 財団と連携先による独自のプログラムを開発、実施する。
- (3) 科学のみならず、物理・数学等の理系全般に分野を広げるため、新規連携先を確保する。

### 4 顧客満足度の向上方策

事業参加者アンケートにより、事業参加に対する満足度の測定とニーズを調査する。

### 5 実績 (平成25年度)

延べ参加者数1,435人

- (1) 夏休み科学教室…7/30(火)、31(水)、工学院大学でサッカーロボット作りを実施。延べ参加者数58人。
- (2) 宇宙の学校(連続講座)…7月～12月(全4回)、KU-MA、シリウスの会と連携。延べ参加者数244人。
- (3) その他科学教室…12/15、香りの粒を作ろう!、紙飛行機を飛ばそうを実施。延べ参加者数33人。
- (4) サイエンスフェスタ「子どもフェスタ」で、その他科学教室等9教室を実施。延べ参加者数1,100人。

### 6 対前年度予算増減説明

実施内容・実施規模拡充による増。

根拠法令	社会教育法、小学校学習指導要領	事業開始	平成22年度
------	-----------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-3
事業名	放課後子どもひろば			担 当 課	子ども支援課
				変更内容	事業縮小
目 的	地域と協働して、放課後および学校休業日に、小学校内において安全で充実した子どもの遊びや学びの場を提供することで、地域の子どもの健やかな成長を支援する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	2,737	1,425	1,312	部	経常増減の部
区受託料	282,817	290,731	△ 7,914	大科目	事業費
経常収益計	285,554	292,156	△ 6,602	種別	受託事業
事業費	39,123	35,584	3,539	(単位:千円)	
人件費	246,431	256,572	△ 10,141		
経常費用計	285,554	292,156	△ 6,602		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

- (1)実施場所／区内小学校(19校)の活動室、校庭、体育館等
- (2)実施内容／子どもたちが伸び伸びと遊び、学ぶ環境の提供  
団体や個人と連携した、遊び指導員の導入及び各種プログラムの実施
- (3)実施手法／各校に管理責任者(契約職員)1人と遊び・学び支援者(パート職員)4人を配置  
巡回指導(1校につき年間8回)による指導、助言。相談員による相談業務(週1回)
- (4)その他／新たに2校において学童クラブ機能付き放課後子どもひろばを、8校において開設時間を延長する放課後子どもひろばを実施する。

### 2 成果指標

年間延べ参加者数／135,136人(平成25年度実績:131,200人)  
(平成25年度実績の3%増。ただし戸塚第二小学校(6,367人)・落合第四小学校(10,355人)の実績を除く)  
自校登録率／70%(平成25年度実績:65.4%)

### 3 実施上の課題

- (1)平成19年度事業開始時から7年が経過し、子どもひろばに対する需要や事業のあり方が変化してきている。児童及び保護者のニーズに応えられるよう、事業内容の充実を図る。
- (2)平成26年度に落合第四小学校で実施した学童機能付き放課後子どもひろばの実績をもとに、新たにスタートする学童機能付きひろば(2校)、開設時間延長のひろば(8校)を円滑に実施していく。
- (3)ひろばだより、財団広報紙、ホームページ等を活用し、周知活動を強化する。
- (4)民間企業や地域団体、個人等と連携し、ひろば独自のプログラムを導入していくことで、より魅力的な活動内容を提供する。
- (5)スタッフに対する研修・相談業務を充実し、ひろば運営の質的向上を図る。
- (6)今後の子どもひろば運営や学童クラブとの一体運営に関する研究を進める。

### 4 顧客満足度の向上方策

- (1)全ひろばで平成26年度に引き続き利用者アンケートを実施し、顧客満足度の推移や児童・保護者の需要を把握する。
- (2)アンケートの結果から、即時取り組める事項については、随時ひろば運営に活かしていく。

### 5 実績 (平成25年度)

	年間累計参加者数	1日平均参加者数		年間累計参加者数	1日平均参加者数		年間累計参加者数	1日平均参加者数
津久戸小	6,640人	27.3人	余丁町小	8,360人	34.4人	落合第三小	5,594人	22.9人
江戸川小	5,033人	20.6人	四谷小	9,048人	37.2人	落合第四小	10,355人	42.4人
市谷小	9,712人	39.8人	花園小	5,235人	21.5人	落合第五小	3,717人	15.2人
愛日小	6,179人	25.3人	天神小	5,648人	23.1人	落合第六小	6,682人	27.4人
早稲田小	8,339人	34.2人	戸塚第一小	9,525人	39.0人	淀橋第四小	5,206人	21.3人
鶴巻小	4,238人	17.4人	戸塚第二小	6,367人	26.1人	柏木小	8,626人	35.4人
牛込仲之小	6,915人	28.3人	落合第二小	8,266人	33.9人	西戸山小	8,237人	33.8人

### 6 対前年度予算増減説明

戸塚第二小学校・落合第四小学校分減による減

根拠法令	放課後子どもひろば事業実施要綱	事業開始	平成19年度
------	-----------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-4
事業名	対話式美術鑑賞教室			担 当 課	学芸課
				変 更 内 容	—
目 的	1.区内の小・中学校の児童、生徒に、対話による美術鑑賞を通して美術文化に触れる機会を提供し、子どもたちの豊かな心の醸成と心身の健全な育成を図る。 2.公益財団法人損保ジャパン日本興亜美術財団と連携し、学校の教育活動を支援する。				
区 分	予算額	前年度予算額	比較増減	会 計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区受託料	6,615	6,656	△ 41	大科目	事業費
経常収益計	6,615	6,656	△ 41	種別	受託事業
事業費	4,249	4,311	△ 62	(単位:千円)	
人件費	2,366	2,345	21		
経常費用計	6,615	6,656	△ 41		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

#### (1) 対話による美術鑑賞教室

公益財団法人損保ジャパン日本興亜美術財団及び区立小・中学校と連携し、原則小学校4年生、中学校1年生を対象に、東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館にて対話による美術鑑賞を実施する。児童・生徒が美術作品を見て感じ、考えたことを同じグループの他者に話し、相手の考えを聴き、話し合いながら作品の鑑賞力を深められるよう支援していく。(1校につき約90分)

#### (2) 事前授業

東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館での対話による美術鑑賞に備え、区立小・中学校の図工または美術の時間を活用し、アートカード等を使用した事前学習授業を実施する。損保ジャパン日本興亜美術財団からボランティアガイドスタッフを派遣し、ワークショップ形式にて対話により様々な感じ方、考え方があることを学ぶための支援を行う。

### 2 成果指標

参加学校数／小学校全29校、中学校全9校(平成25年度実績:小学校29校、中学校7校)

### 3 実施上の課題

- (1) 新宿区教育委員会、小・中学校、損保ジャパン日本興亜美術財団と連携し、事前授業プログラム内容の充実を図る。
- (2) 対話による美術鑑賞教室及び事前授業の末実施校に対する周知を強化し、導入を促進する。

### 4 顧客満足度の向上方策

新宿区教育委員会との協議のうえ、参加校に対するアンケート調査(担当教諭対象)を実施し、授業のねらいに沿った事業であったかを検証する。アンケート結果から課題があった場合は、教育委員会、損保ジャパン日本興亜美術財団及び小・中学校担当教諭の3者で協議し、事業内容の改善を図る。

### 5 実績

平成25年度

- (1) 対話による美術鑑賞教室に小学校29校、中学校7校の計36校が参加。
- (2) 小学校の事前授業で斬新なプログラムを実施した学校があり、その内容を録画し、希望校の担当教諭に配付できる準備を行った。

### 6 対前年度予算増減説明

事業実施に伴う人件費見直しによる増。

根拠法令	社会教育法、文化芸術振興基本法	事業開始	平成22年度
------	-----------------	------	--------

# 平成27年度事業計画書

定 款	4 次代を担う児童や青少年の育成			事業・枝事業番号	4-5
事業名	レガスサイエンスフェスタ			担 当 課	子ども支援課
				変更内容	事業拡大
目 的	普段の学校では体験できない実験や工作を1日で複数体験できるイベント形式で実施することにより、子どもの科学や技術に対する興味・関心をより一層刺激する。				
区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,360	953	407	部	経常増減の部
自主財源	1,949	1,506	443	大科目	事業費
区補助金	0	0	0	種別	自主事業
経常収益計	3,309	2,459	850	(単位:千円)	
事業費	3,309	2,459	850		
人件費	0	0	0		
経常費用計	3,309	2,459	850		

## 事業の計画

### 1 実施内容(予定)

レガス子ども未来講座の協力・連携団体をはじめ、都内の民間企業、大学等との連携・協働により、サイエンスフェスタを実施し、子どもたちのサイエンスに対する興味・関心の向上を図る。

- (1) 実施日 平成28年3月5日(土)
- (2) 実施場所 新宿コズミックスポーツセンター、ほか
- (3) 実施方法 サイエンスに関する複数のブースを設置し、1日で体験できる形式のイベントを実施する。
- (4) 参加費 400円
- (5) 材料費 3,000円
- (6) 対象 小学生(区内の小学校に通う児童、ほか)、定員400人(先着順)
- (7) 周知方法 ① Oh!レガス新宿ニュース及び財団ホームページ、ほか  
② 新たに「サイエンスフェスタ」周知用パンフレットを作成し、区内区立小学校及び私立学校、東京韓国学校に対し、送付する。

### 2 成果指標

参加者数/300人

### 3 実施上の課題

- (1) 科学のみならず、物理・数学等の理系全般に分野を広げるため、企業や大学等の新規連携先を確保する。
- (2) 財団と連携先による独自のプログラムを開発、実施する。

### 4 顧客満足度の向上方策

事業参加者アンケートにより、事業参加に対する満足度の測定とニーズプログラムを調査する。

### 5 実績

平成25年度

- (1) 実施日時 平成26年3月1日(土)、午前10時から午後5時
- (2) 実施内容 子どもフェスタ2014(特定費用準備資金充当事業)と同時開催、実施。
- (3) 協力団体 6団体(理工系大学及び科学サークルに協力による)
- (4) 参加者数 参加者数1,100人

### 6 対前年度予算増減説明

実施内容等の見直しによる増。

根拠法令	社会教育法	事業開始	平成22年度
------	-------	------	--------